

学校教育目標		志をもって意欲的に学び、豊かな心をもつ、心身ともに健康でたくましい生徒を育成する。		重点目標		自ら学ぶ意欲と思いやりの心をもった生徒を育成する。				
評価計画				自己評価			改善計画		学校関係者評価	
重点目標	目標達成のための具体的方策(取組指標)	成果指標(目指す生徒の姿)	評価	成果	課題	改善策(案)		評価	コメント	
						次年度における改善策(案)				
重点目標	自ら学ぶ意欲をもった生徒の育成	毎時間、めあての提示とまとめのある板書をしましたか。	毎時間、板書をノートに書いた。	3.0	・ほとんどの生徒が毎時間丁寧にノートに書いていた。 ・合唱練習の自己評価表にめあてと反省を書く習慣はついてきた。	・意欲的に取り組めない生徒が数人いた。 ・まとめをする時間が足りないことがあった。	・学習方法の工夫と家庭学習の充実。 ・1時間の授業内容と配時計画。	3.7	・学ぶ意欲があると思った。	
		言語活動の充実を意識し、生徒が発表・活動する場面を設定しましたか。	積極的に挙手しみんなに聞こえる声で発表した。	2.2	・自分の意見を言いやすい雰囲気作りに努め、意欲的に発表する生徒が増えた。	・実験や実技が多く発表する場を作れなかった。 ・2年生は発表する生徒が固定していた。	・発表する場の設定の仕方の工夫。 ・発問の工夫。新聞記事を活用した学習。	3.0	・文章表現も含む成果指標にすべき。	
		定着を図るために、効果的な宿題を出しましたか。	80%以上の生徒が宿題を忘れずにしてきた。	2.5	・毎週末に漢字の宿題を出しほぼ全員提出できた。 ・毎回予習ワークの宿題を出し90%の生徒がしてきた。	・宿題からの小テストを実施し定着を図りたい。	・作業が遅れている生徒への放課後指導。 ・家庭学習の取り組み方の支援と内容の改善。	3.3	・90%以上の生徒がしてきたなら自己評価はもう少し高く。	
		テスト前に補充学習をしましたか。	補充学習会に意欲的に参加し、テスト勉強に取り組んだ。	1.6	・昼休みに補充学習を行った。	・テスト前に残すのは難しい。	・機会をとらえた補充学習の充実。	3.0	・取組指標自体の再考を。	
		夏休みに補充学習をしましたか。	補充学習会に参加し、苦手教科の復習をした。	2.6	・1週間程度実施した。 ・学年で取り組んだ。	・学年全体で計画したが参加者が少なかった。	・計画性のある補充学習。 ・呼びかけや時間帯の工夫。	3.3	・参加者が増えるようにすることが必要。	
		全員授業で、生徒の意欲を引き出すような授業の工夫をしましたか。	80%以上の生徒が授業に意欲的に参加した。	2.7	・興味を引く教材選びをした。 ・実験には意欲的に取り組んだ。	・意欲を喚起するための工夫やわかりやすい授業のための手立てを明確にする。	・教材や導入、展開等指導法の工夫。	3.0	・興味を引く授業ばかりではないから大変。	
		道徳の時間に「思いやりの心」が主題の授業を行った。	題材や発問に対して関心を持ち、自分の考えをもつことができた。	2.6	・生徒の思いや考えを出させる時間は有効であったと思う。	・特別活動や総合的な学習の時間との関連を考慮した年間指導計画の作成。	・内容を検証する場の設定。	3.0	・繰り返し「思いやり」の題材を学習させる。	
関する心をもった生徒の育成		行事や体験活動を通して、思いやりの心を育てるような指導を行いましたか。	行事や体験活動に対して、意欲的・協力的態度で臨んだ。	2.7	・体育祭や50周年記念行事で生徒のつながりを感じた。 ・体育祭では優しさや思いやりの姿が見られた。	・行事や体験活動の意義、目的を明確にした指導。	・生徒同士がつながる活動の計画。	3.3	・体育祭を見て子ども達の姿に感動した。評価はもっと高く。	
		生徒のよさを認める指導を心がけましたか。	道徳アンケートの結果、自尊心が高まった。	2.5	・挨拶や頑張る生徒を褒め励まし、努力する生徒が増えた。	・アンケート結果の後の話し合い不足。	・道徳アンケートの継続。	3.3	・生徒のよいところを大いに褒めてほしい。	
		いじめの実態をつかみ、素早く対応しましたか。	陰湿ないじめや暴力を許さず、悩んでいる人がいたら先生に相談した。	2.8	・生活アンケートや教育相談を活用した。	・心を配っているが、解決までには至っていない。	・携帯の指導など保護者との連携。	3.3	・生徒との信頼関係を築くことが大切だ。	
		学年の全職員で出欠を確認し、不登校生徒に共通理解して対応しましたか。	欠席や遅刻の連絡はきちんとし、欠席している友だちにも無関心にならなかった。	2.7	・毎朝昇降口であいさつ運動をした。 ・別室登校生徒の出欠をホワイトボードで確認できた。	・共通理解できず担任任せのところがある。 ・学年で共通理解できているが生徒への対応は十分でない。	・不登校生が登校した際の対応の確認。 ・別室登校生徒への対応表作成。	3.3	・教師間の話し合いが必要である。	
		生徒との信頼関係を築き、生徒の悩みや心の相談にも適切に対応しましたか。	生活アンケートの結果、悩みなどを相談できる先生が増えた。	2.6	・保健室はホッとすると、落ち着くという生徒は多い。	・先生を信頼できていない生徒がいて気になる。	・教育相談の充実を図るための時間確保。	3.3	・相談できる体制を常に作っておくことが大事。	

自己評価 4:目標達成(90%以上) 3:ほぼ達成(70~90%) 2:もう少し(60~70%) 1:できていない(60%未満)
 学校関係者評価 4:自己評価は適切である 3:自己評価はほぼ適切である 2:自己評価はあまり適切でない 1:自己評価は不適切である